

『健康なからだは健康な食へ物から』

健康な食へ物は健康な土から

推進しますすミネラル野菜

町では今年度も、農協と一体となって県、関係機関、団体の協力を得ながら、『堆きゅう肥を活用した健康な土づくり』と健康な土から栽培される『安全でおいしいミネラル野菜の栽培』を推進していきます。

土壌診断に基づき、ミネラル栽培がスタート

昨年は、低温と日照不足により野菜生産農家にも影響がありました。町と農協では、野菜生産農家の支援策として、十六年の再生産に向けて、県の補助事業を活用しながら土壌診断料の助成を実施しました。

二八八地点の土壌診断が行われ、過日、診断結果についての研修会が行われました。土壌診断結果に基づき施肥設計により不足する微量要素等を補い、健康な土づくりが進められます。

平成十二年度からスタートした取り組みも五年目を迎え、今年度はインゲンの全生産者を含む約二百戸の農家の皆さんがミネラル野菜の栽培に取り組みることとなりました。

本年度は、ミネラル栽培の生産技術の更なる向上を図り、安定出荷をめざすとともに、販売流通の強化を図るため次のような事業を展開していきます。

① モデルほ場の設置

今年度も、昨年度に引き続き農



今年も作物ごとの現地指導会を開催し、栽培技術の向上をめざします。

② 研修会の実施

今年度も引き続き、年間を通して猪苗代町の宇川進先生を講師に

家の協力により、堆肥の有効性と土壌診断に基づく施肥計画により栽培した作物の生体分析などを行います。

生体分析では、標準値よりミネラル分が豊富に含まれていたり、糖度が高く、ビタミンが豊富であるなどの成果を検証していきます。これらの分析結果は、小野町のミネラル野菜の販売PRのために、活用していきます。

迎え「ミネラル野菜等の栽培」研修会並びに現地指導会を実施します。また、秋には、より多くの町民の皆さんにミネラル野菜について理解していただけるように中嶋常允先生による講演会を予定しています。



今年度も宇川先生に年間を通してご指導いただきます。

③ 『枝豆』『ちぢみほうれん草』の産地化

今年度から新たな米政策が始まり、小野町における米及び米以外の作物の栽培・販売戦略、水田の利活用、担い手の育成等の将来方向を明確にした「地域水田農業ビジョン」が策定されました。

その中で、水田の転作物としても期待できる「枝豆」を重点作物として位置づけ、栽培を推進していきます。今年度は、浮金越野地区において、団地化による転作が行われるほか、町内の約六・八ヘクタールのほ場でミネラル栽培による枝豆の栽培が予定されています。

町では、農協とともに、県の補助事業を活用して、枝豆栽培に必要な機械の導入について支援して

いきます。

また、昨年から本格的に栽培が開始され、県内のスーパー等に「小野町」ブランドの野菜として店頭にも並んだ「ちぢみほうれん草」についても、産地化に向けて農協とともに推進していきます。

「ちぢみほうれん草」については、面積の拡大を推進するため、町では五十アール以上の栽培をする個人または、グループに対して生産資材の一部助成を実施します。



面積拡大を推進していく「小野町」産のちぢみほうれん草。

堆肥舎の整備に対する支援

家畜排せつ物の管理の適正化を図り、堆肥の生産、利用を促進するため、県単独事業による堆肥舎建設を支援しています。

平成十二年度に六カ所、十三年度に二カ所、十四年度に一カ所、十五年度に一カ所の堆肥舎が整備されました。

本年度は、三カ所の堆肥舎整備に対する支援を予定しています。

持続性の高い農業生産の推進

持続性の高い農業生産を図るためには、耕種農家が土づくりを進めるにあたって、田畑に投入する良質の堆肥が必要になっていきます。

一方、畜産農家では家畜排せつ物を堆肥化しても、その供給先に苦慮しているのが現状です。

このような中、耕種農家の求める堆肥づくりを進めることの必要性や、高齢化により堆肥の散布できない耕種農家に対する受託組織の必要性を訴える声が出てきています。

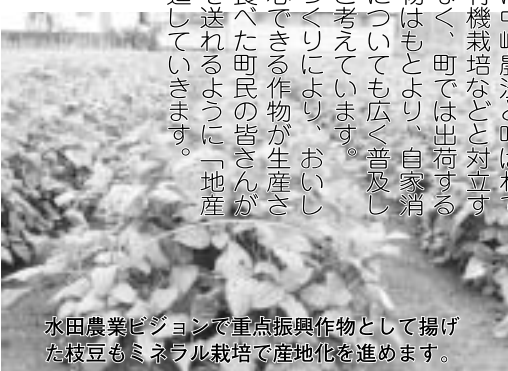
関係機関、団体と協力しながら、堆肥の供給システムの構築等について、検討していきます。

ミネラル栽培による農作物で健康な町に・・・

ミネラル栽培については、農業科学研究所所長である中嶋先生の理論により、土を検査して過剰な成分を抑え、不足しているもの(微量要素等)を補い、土を健康な状態にして作物を栽培するというものです。ミネラル栽培の米や野菜がおいしいという声を多く聞かれますし、町内でミネラル栽培で栽培された作物の生体分析をすると、ミネラル分やビタミンなどの栄養分が標準よりも多いという結果も出ています。

中嶋先生の理論によるミネラル栽培は一般に中嶋農法と呼ばれていますが、有機栽培などと対立するものではなく、町では出荷する野菜等の作物はもとより、自家消費用の野菜についても広く普及していきたいと考えています。

健康な土づくりにより、おいしく安全で安心できる作物が生産され、それを食べた町民の皆さんが健康な生活を送れるように「地産地消」を推進していきます。



水田農業ビジョンで重点振興作物として揚げた枝豆もミネラル栽培で産地化を進めます。